

## 雪氷写真館 ⑩ 雪崩の破断面 (北海道・東北で起こった雪崩) / Wall surfaces of slab avalanche failure in Hokkaido and Tohoku regions

雪崩災害調査において、雪崩の破断面の調査は基本となります。ここでは雪崩分科会の会員が実際に調査を行った雪崩の破断面の写真を前号に続き、2号にわたって紹介いたします。

### 北海道で起こった雪崩

#### (調査：雪氷学会北海道支部雪氷災害調査チーム)



写真 1

場所：北海道上富良野町上ホロカメットク山・通称下降ルンゼ  
雪崩発生日時：2007年11月13日  
十勝連峰・上ホロカメットク山(1920m)の標高1819m付近で雪崩が発生し、スキーヤー1名を巻き込みながら標高差約203m、距離にして約444mを駆け下った。巻き込まれたスキーヤーは完全に埋没したものの、同行者の迅速な対応と北海道警察航空隊による救助活動によって一命をとりとめ、事なきを得た。こしもざらめ雪、しもざらめ雪が弱層となった面発生乾雪表層雪崩が誘発により発生<sup>1)</sup>。



写真 2

場所：十勝連峰上ホロカメットク山(1920m)の通称・化物岩東側斜面  
雪崩発生日時：2007年11月23日12時5分  
雪崩は標高差約190mを流れ落ち、ヌッカクシ富良野川の谷底を埋めた。谷底を歩いていた日本山岳会北海道支部の11人パーティーは上部から落ちてきた雪崩に巻き込まれた。雪崩に巻き込まれたものの自力で脱出した同パーティーのメンバーや周辺にいた登山者がただちに行方不明者の捜索を開始したが、4人が死亡、1人が重傷を負う大惨事となった。  
しもざらめ雪の弱層による面発生乾雪表層雪崩<sup>1)</sup>。



写真 3

場所：北海道上富良野町三段山中腹(通称二段目付近)  
雪崩発生日時：2012年12月16日午前10時頃  
5人のスキーヤーの内1名が巻き込まれる雪崩事故、1名死亡。  
雲粒付着無し降雪結晶が弱層となった面発生乾雪表層雪崩が誘発により発生<sup>2)</sup>。



写真 4

場所：北海道上富良野町富良野岳北尾根  
雪崩発生日：2013年4月22日  
2013年4月23日早朝に富良野岳北尾根下部三峰山沢底で心肺停止の状態で見えられたスノーボーダーの男性が、発見前日(22日)に巻き込まれたと思われる雪崩。1名死亡。  
雪面から垂直方向に下の深さ24~25cmの雲粒付着無し降雪結晶が弱層となった面発生乾雪表層雪崩が誘発(推定)により発生<sup>3)</sup>。

## 東北地方で起こった雪崩

(調査：防災科学技術研究所 雪氷防災研究センター 新庄雪氷環境実験所)

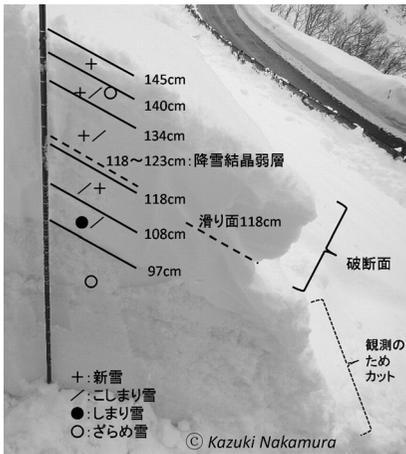
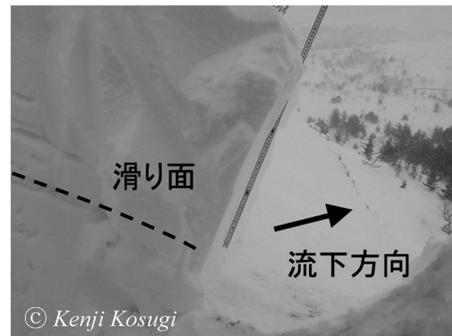


写真 5

場所：山形県西川町大字砂子閑地内の国道 112 号沿い  
 雪崩発生日時：2014 年 2 月 9 日午前 7 時前  
 雲粒付着無し降雪結晶が弱層となった面発生乾雪表層雪崩が自然発生。  
 約 5 時間にわたり車の通行ができなくなった<sup>4)</sup>。

写真 6

場所：岩手県八幡平市恵比寿沢  
 雪崩発生日時：2005 年 1 月 23 日 9 : 40 頃  
 誘発雪崩により 1 名死亡。雪崩の規模は、幅 50 m、長さ 100 m。  
 しまり雪とざらめ雪のウィークインターフェースが滑り面<sup>5)</sup>。



## 雪崩の破断面（北海道・東北で起こった雪崩）

### 参考文献

- 1) 尾関ほか, 2008 : 2007 年 11 月に北海道上ホロカメットク山で連続発生した雪崩, 雪氷, **70**, 571-580.
- 2) 山野井ほか, 2013 : 2012 年 12 月に三段山で発生した雪崩の調査報告, 北海道の雪氷, **32**, 6-9.
- 3) 雪氷災害調査チームホームページ, 調査報告 2013-04-22 富良野岳北尾根【速報】より <http://avalanche.seppyo.org/snow/>
- 4) 中村一樹・小杉健二, 2014 : 低気圧性の降雪により 2014 年 2 月 9 日に山形県西川町で発生した雪崩の特徴, 東北の雪と生活, **29**, 21-26.
- 5) 小杉健二ほか, 2005 : 2004/2005 年冬季の東北地方における主な雪崩について, 東北の雪と生活, **20**, 10-11.

防災科学技術研究所 雪氷防災研究センター（山口 悟, 中村一樹, 阿部 修, 小杉健二）  
 雪氷学会北海道支部雪氷災害調査チーム（八久保晶弘, 佐々木大輔, 山野井克己, 大西人史）